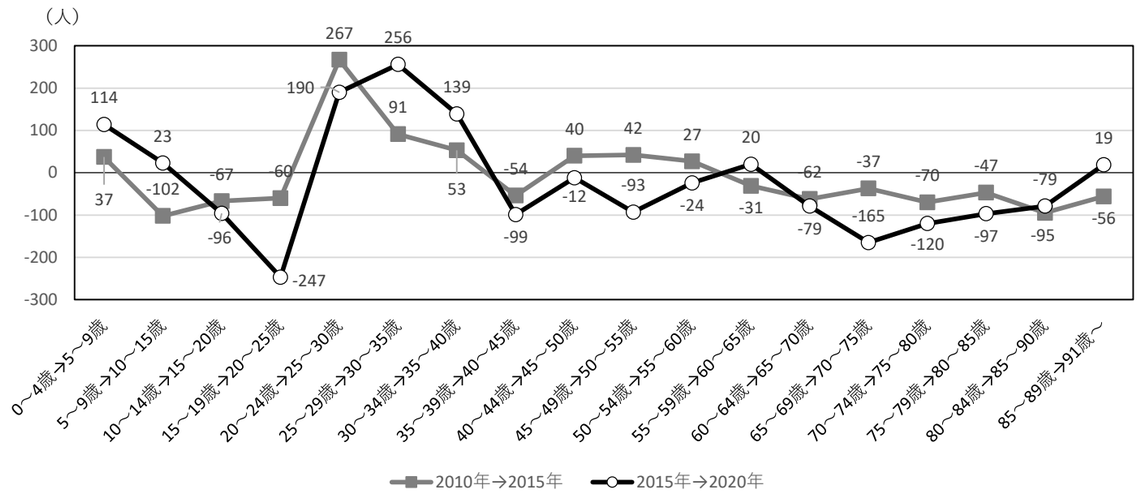
参考２

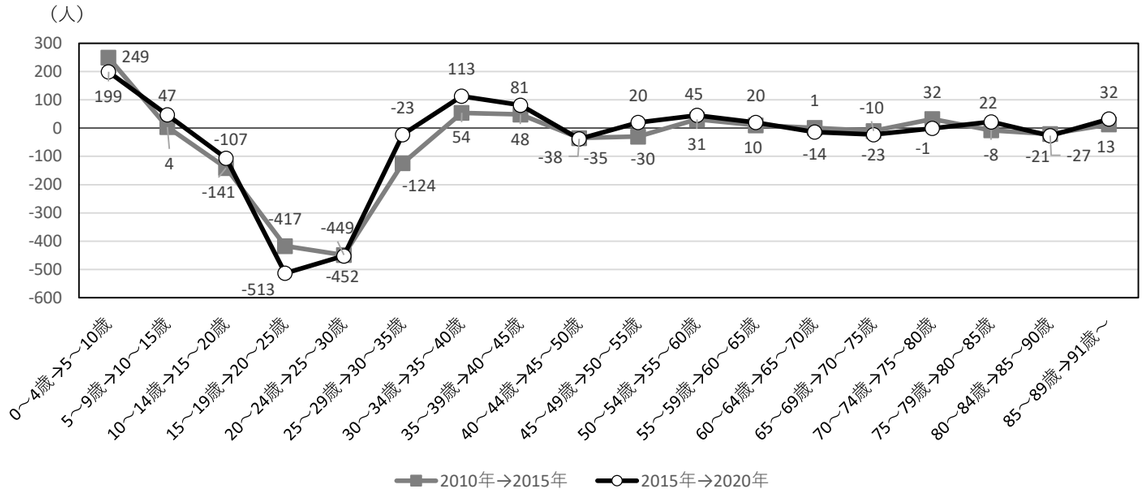
■あま市及び近隣市における年齢階級別純移動数※の状況

（※純移動数とは、転入者から転出者の数を引いた差の数のことです。）

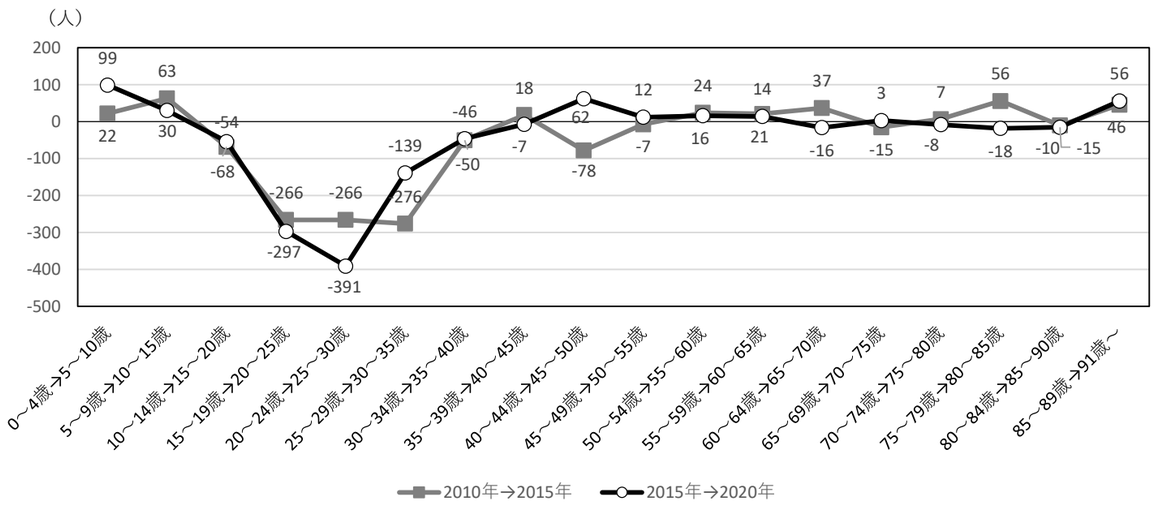
■あま市_年齢階級別純移動数



■愛西市_年齢階級別純移動数



■津島市_年齢階級別純移動数



○あま市では、10 代後半からの転出超過が見られるものの、その後子育て世代の流入が見られます

2015 年から 2020 年における、あま市の年齢階級別純移動数の状況を見ると、10 代後半から 20 代前半にかけて、転出が転入を上回り、純移動数はマイナスとなっていますが、20 代後半から 30 代後半にかけては、転入が転出を上回り、純移動数はプラスとなっています。このことから、あま市では、進学や就職により、市外への転出が増加するものの、結婚・子育て期には、Ｕ・Ｉターンなどにより住まいの場として選ばれ、転入が増加していることが分かります。この動向は、2010 年から 2020 年の状況を見ても、同様の傾向となっています。

○近隣２市では 30 代にかけての転出超過が見られ、その後の転入数も限定的となっています

近隣の津島市、愛西市と比較すると、近隣２市とも 20 代後半から 30 代まで転出超過が継続し、その後も転入者の戻りは大きくはない状況となっています。この動向は、2010 年から 2020 年の状況を見ても、同様の傾向となっています。

資料：総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきデジタル田園都市国家構想実現会議事務局作成